

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 25 年 4 月 11 日 (2013.4.11)

【公開番号】特開 2011-185503 (P2011-185503A)  
 【公開日】平成 23 年 9 月 22 日 (2011.9.22)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-038  
 【出願番号】特願 2010-50167 (P2010-50167)  
 【国際特許分類】

F 2 4 D 3/16 (2006.01)

F 2 4 D 11/00 (2006.01)

【F I】

F 2 4 D 3/16 F

F 2 4 D 11/00 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 25 年 2 月 21 日 (2013.2.21)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

躯体にパイプ管をはりめぐらせ、該パイプ管内に液体を循環させて温度を制御する温度制御方法において、

パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする温度制御方法。

【請求項 2】

床材基礎部に、パイプ管をはりめぐらせ、該パイプ管内に温水を循環させて温度を制御する温水式床暖房の温度制御方法において、

パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする温水式床暖房の温度制御方法。

【請求項 3】

蓄熱材とバインダーを含む蓄熱組成物をパイプ管の外側に被覆させ、該蓄熱組成物を固形化させ、パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の温度制御方法。

【請求項 4】

パイプ管をはりめぐらせた後、蓄熱材とバインダーを含む蓄熱組成物をパイプ管近傍に流し込んで固形化させ、パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の温度制御方法。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0009  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0009】

すなわち、本発明は以下の特徴を有するものである。

1. 躯体にパイプ管をはりめぐらせ、該パイプ管内に液体を循環させて温度を制御する温度制御方法において、パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする温度制御方法。

2．床材基礎部に、パイプ管をはりめぐらせ、該パイプ管内に温水を循環させて温度を制御する温水式床暖房の温度制御方法において、パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする温水式床暖房の温度制御方法。

3．蓄熱材とバインダーを含む蓄熱組成物をパイプ管の外側に被覆させ、該蓄熱組成物を固形化させ、パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする 1．または 2．に記載の温度制御方法。

4．パイプ管をはりめぐらせた後、蓄熱材とバインダーを含む蓄熱組成物をパイプ管近傍に流し込んで固形化させ、パイプ管の外側に蓄熱材を被覆させることを特徴とする 1．または 2．に記載の温度制御方法。